

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

確かな専門的知識と技術・技能を習得させる工業高校として、地域等と連携するとともに、ものづくりにおいて必要とされる課題に粘り強く対応する力や正確性、確かな勤労観、職業観を育む教育活動を通して、それぞれの専門分野で主体的に活躍し、社会の発展に貢献する人材の育成を目指す。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

校訓「誠実・健康・創造」の理念の下、『倉エスタンダード』を身に付けた生徒の育成。

「モノを創る ヒトが育つ」 ～Think Create Progress～

○心身の鍛錬を通して社会人として求められる、当たり前のことを当たり前のこととして行動できる生徒。

○工業人として求められる、ものづくりに対する創造意欲、専門的知識と技術・技能を有する生徒。

（注）「倉エスタンダード」とは、「行動力」「コミュニケーション力」「課題対応力」「工業人力」の資質・能力を指している。

## ○当該年度の具体的な学校経営目標・計画

◎重点目標；「倉エスタンダード」の実践による「人づくり」～地域から信頼され愛される人に～

I【人間力の向上】心身の鍛錬とともに人としての適切な行動力を育む

- ①学校行事の精選と充実
- ②部活動の充実・活性化
- ③自治活動の充実
- ④基本的な生活習慣の確立
- ⑤豊かな人間性の育成
- ⑥リーダーの育成

II【学力の充実】自ら学習する姿勢を育む

- ①学習場面に応じたICT機器の有効な活用を実践
- ②基礎・基本を定着させる授業を実践
- ③興味の持てる・わかる授業を実践
- ④SDGsやPBLの視点での学びを実践
- ⑤各種大会・コンテスト等への積極的な参加・応募を実践

III【キャリア教育】計画的な3年間の指導を通して、自らの将来の姿を育む

- ①高度な資格取得への挑戦を通じた自己研鑽
- ②授業を通じた勤労観の育成
- ③進路（就職・大学進学）に応じた指導の充実
- ④企業・学校研究の充実
- ⑤情報提供の充実

IV【地域連携】地域連携をすすめ、コミュニケーション能力、公共心、自己肯定感を育む

- ①地域や社会と連携した学びを実践
- ②HP・ツイッター等での情報発信の充実
- ③作品展示会、学校説明会等の充実
- ④社会貢献活動の充実
- ⑤防災教育の充実

V【ものづくり】創意・工夫したものに挑戦し、達成感を育む

- ①安全教育を実践
- ②最先端のデジタル化対応装置を活用した学びを実践
- ③「課題研究」等の魅力づくりを実践
- ④外部講師の積極的な活用を実践

VI【校内組織の活性化と人材育成】生徒の人としての成長を育む

- ①相互扶助を実践
- ②ICT機器等の有効活用による業務効率化を実践
- ③OJTによる人材育成を実践
- ④コンプライアンスに基づいた業務を実践

## プロジェクト

- ・「Chromebook等のICT活用に関する研究」 ～校務の効率化と授業での効果的な活用方法について～